

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年1月31日（金）10時05分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

宇野課長補佐、高松審査係、山中審査係、田上審査係、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

平沢原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当7名 福島第一原子力発電所 担当4名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 3号機燃料取り出しの状況について
 - ✓2020年1月25日時点で、計56体の燃料の共用プールへの移送が完了
 - ✓ガレキ撤去によりハンドルが確認できた燃料は、566体中447体
 - ✓そのうちこれまでハンドルの変形が確認された燃料は、13体
 - ✓マニピュレータ左腕手首が早く回転する事象の概要
 - 1号機ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の実施について
 - ✓今後撤去を予定している天井クレーン、FHM等の大型ガレキ撤去の際に、当該ガレキが落下することを防止する対策、又は落下した場合でも落下物が燃料等に与える影響を緩和するために講じる対策(SFP養生、天井クレーン支保の設置等)の概要
 - ✓今後のスケジュール
 - ・SFP養生、天井クレーン支保の設置等と並行して1号機大型カバー設置に向けた準備工事を実施する予定
 - 3号機原子炉建屋内環境改善作業の実績および計画
 - 3号機 使用済燃料プール水質状況について
 - ✓昨年12月にSFPの水質分析を実施した結果、導電率について基準値を超える値が検出された
 - ✓塩化物イオン濃度を測定したところ、基準値を超える値は検出されなかった
 - ✓推定原因及び今後の対応
 - 昨年11月に発生した既設ALPS A系吸着塔16Aスクリーン折損について
 - ✓スクリーンは、通水時に吸着材が流出しないよう、フィルターの役割で吸着塔底部に設置している
 - ✓折損した原因は、当該吸着塔の吸着材に活性炭を使用しており、金属の腐食が進行しやすい環境にあることから、スクリーン根本部が腐食し強度が低下したことでであると推定
 - ✓折損防止対策について、腐食防止対策を実施することは難しいため、補強リブ付き構造のスクリーンに交換し、腐食した場合でも折損しにくい構造とする
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下の内容について対応を求めた。
 - 1号機SFPの養生範囲外となる箇所について、当該箇所にガレキが落下した場

合の燃料、ライナー等への影響評価等を踏まえ、追加的に保護する必要性の有無について考え方を説明すること

- 1号機への大型カバー設置に向けた準備工事について、実施内容を説明すること
- 3号機原子炉建屋1階の線量測定については、実施が予定されている作業の計画を立てる上で有益な情報が得られる測定とすること

6. その他

資料：

- 3号機 燃料取り出しの状況について
- 1号機 ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の実施について
- 3号機原子炉建屋内環境改善の実績および計画
- 3号機 使用済燃料プール水質状況について
- 循環注水冷却、燃料デブリ取り出し準備、使用済燃料プール対策スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2020年1月24日～2020年2月6日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2020年1月24日～2020年1月30日）
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況（2020.1.23時点）
- タンク建設進捗状況
- 多核種除去設備（既設ALPS）A系吸着塔16Aスクリーン折損について
- 建屋内における残水等の状況について

以上